様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施 策	①沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進
			施策の小項目名	○多彩で付加価値の高い沖縄観光の実現を支える多様なツーリズムの推進
主な取組	多彩かつ質の高い観光コンテンツの開発		対応する成果指標	平均滞在日数
施策の方向	・本県の豊かな自然環境、琉球王朝時代から培われてきた伝統文化や伝統芸能、空手、泡盛や琉球料理、ホスピタリティ等の本県のソフトパワーを生かした多彩で付加価値の高い沖縄観光の実現を支える多様なツーリズムの推進に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
民間事業者の実施する沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光コンテンツ開発を支援することにより、観光消費額の向上や滞在日数の延伸等、沖縄の抱える観光課題解決を図る。	県	体験型の観光コンテンツ開発への支援		
		支援件数（累計）		
		4件	4件（8件）	4件（12件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄観光コンテンツ開発支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	補助	83,520	83,668

予算事業名	沖縄観光コンテンツ開発支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	補助	89,723

令和6年度活動内容

沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う事業者１１件を支援した。

令和7年度活動計画

沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う事業者10件を支援する。

活動指標名	支援件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う民間企業等の自主的な取り組みを支援した。
	11件	11件（21件）	11件（32件）	４件（12件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

民間事業者や地域観光協会等が実施する体験型コンテンツ開発補助を公募したところ、29件応募があり、そのうち11件支援し、目標を達成した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○事業実施主体の所在町村、地域観光協会等と連携し、持続可能なコンテンツ開発を行う。 ○　商談会等に積極的に参加し、販路開拓を続ける。	○事業実施主体の地域観光協会や周辺事業者、地域住民等と連携し、持続可能なコンテンツ開発を行った。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	多彩で質の高いコンテンツを開発を自走化させるためには、事業実施主体と周辺事業者や地域住民との連携が必要である。
⑦ その他(改善余地の検証等)	事業者自身が継続して販売できる販路を確保する必要がある。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	事業実施主体の地域住民や地域観光協会等と連携し、持続可能なコンテンツ開発を行う。
⑦ 取組の時期・対象の改善	ツーリズムEXPOジャパンなどの観光関係の大型商談会等に積極的に参加し、販路開拓を続ける。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施 策	①沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進
			施策の小項目名	○多彩で付加価値の高い沖縄観光の実現を支える多様なツーリズムの推進
主な取組	フィルムツーリズムの推進		対応する成果指標	平均滞在日数
施策の方向	・本県の豊かな自然環境、琉球王朝時代から培われてきた伝統文化や伝統芸能、空手、泡盛や琉球料理、ホスピタリティ等の本県のソフトパワーを生かした多彩で付加価値の高い沖縄観光の実現を支える多様なツーリズムの推進に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
映画・TVドラマ等の映像コンテンツを活用し、沖縄の認知度（理解・好意）向上を図るため、国内外の映画祭等出展を通して、ロケ地沖縄のPR及びロケの受入整備強化を推進する。	県,市町村,観光協会	沖縄で撮影を行う作品への支援		
		沖縄で撮影を行う作品の支援件数（累計）		
		30件	30件（60件）	30件（90件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	フィルムツーリズム推進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	26,639	30,343

予算事業名	フィルムツーリズム推進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	29,145

令和6年度活動内容

ロケ地情報提供やロケハン等のサポートを行うとともに、地域自治体や観光関連施設の協力体制を構築し、長期的な撮影受入体制の強化を図った。

令和7年度活動計画

ロケ地情報提供やロケハン等のサポートを行うとともに、地域自治体や観光関連施設の協力体制を構築し、長期的な撮影受入体制の強化を図る。

活動指標名	沖縄で撮影を行う作品の支援件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		ロケ地情報提供やロケハン・シナハン、ロケ現場のサポートを行うとともに、地域自治体や観光関連施設のロケ担当者との協力体制を構築し、長期的な撮影受入体制の強化を図った。
	27件	37件（64件）	29件（93件）	30件（90件）	96.7%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

今年度はロケ本番に向けた作品への対応が増えたこと、限られた人員での対応となったことが影響し、前年度から８件の減少となった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
海外からの問い合わせも多く、５年以上前の支援について問い合わせも多い。対応過多の状況で、今後はロケの誘致よりもロケ資源の保全（ゲリラ撮影や無茶な撮影の抑止）に比重をシフトしていく。	ロケ受入環境の整備（ロケ資源の保全など）を目的として、県内の市町村、観光協会、観光施設等を対象にセミナー・意見交換会を実施した。 また、令和３年度に作成した「ロケの円滑な受入れのためのガイドライン」を使い、令和４年度から県内の市町村・観光協会を訪問し、ロケ受入の際の注意点等を周知している。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	ロケ地周辺住民とのトラブル防止、ロケ地の環境破壊の防止、撮影の円滑な進行等のために、ガイドラインの周知を行う必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	ロケ資源の保全のために、市町村、観光協会等を対象に「ロケの円滑な受入れのためのガイドライン」の周知、意見交換会を実施していく。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施 策	①沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進
			施策の小項目名	○多彩で付加価値の高い沖縄観光の実現を支える多様なツーリズムの推進
主な取組	沖縄国際映画祭を活用したツーリズムの推進		対応する成果指標	平均滞在日数
施策の方向	・本県の豊かな自然環境、琉球王朝時代から培われてきた伝統文化や伝統芸能、空手、泡盛や琉球料理、ホスピタリティ等の本県のソフトパワーを生かした多彩で付加価値の高い沖縄観光の実現を支える多様なツーリズムの推進に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄国際映画祭を通じ、沖縄の地域の魅力を国内外に発信する取組を実施する。	県,市町村,観光関連事業者	沖縄国際映画祭を通じたイベント等の実施		
		イベントの実施回数（累計）		
		3件	3件（6件）	3件（9件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	フィルムツーリズム推進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	36,850	37,427

予算事業名	フィルムツーリズム推進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	27,876

令和6年度活動内容

最後となる沖縄国際映画祭の開催支援を行うとともに、今後、沖縄の魅力を発信するイベントの創出を考えた。

令和7年度活動計画

新たに開催される沖縄国際文化祭においては県全体を巻き込んだものとなるよう実施していく。また、沖縄の魅力を発信するイベントの創出を考える。

活動指標名	イベントの実施回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		国内外で開催される映画祭・イベント等において沖縄の魅力の発信を行った。全国ロケ地フェアにてロケ地マップの配布し、新宿エイサーまつりのブース出展、トークイベント等で沖縄国際映画祭のPRを行った。
	4件	9件（13件）	6件（19件）	３件（９件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「イベント開催のガイドライン」等を遵守しながら、計６回のイベントを開催し、沖縄国際映画祭を通じた沖縄の魅力発信に取り組むことができた。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○沖縄の地域魅力発信の一つとして、県外開催のイベントにブース出展や著名人を派遣することで、効果的に発信する。 （横浜市：鶴見ウチナー祭）	沖縄国際映画祭を通した沖縄の魅力を発信するための映画コンテンツ（短編映画作品）を発信した。沖縄を旅するテレビ番組、SNSを使い地域の魅力を効果的に発信した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	各市町村との関わりが低かった反省点を踏まえ、41市町村との連携、県民を巻き込んだものする必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	41市町村の魅力を発信するコンテスト形式の上映会の実施、伝統芸能や美術等に携わる県内若手アーティストの発表の場の創出など文化面の取組を強化する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施 策	①沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進
			施策の小項目名	○多彩で付加価値の高い沖縄観光の実現を支える多様なツーリズムの推進
主な取組	「琉球料理が味わえる店（仮）」店舗認証制度		対応する成果指標	平均滞在日数
施策の方向	・本県の豊かな自然環境、琉球王朝時代から培われてきた伝統文化や伝統芸能、空手、泡盛や琉球料理、ホスピタリティ等の本県のソフトパワーを生かした多彩で付加価値の高い沖縄観光の実現を支える多様なツーリズムの推進に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
「琉球料理が味わえる店」店舗認証制度について、店舗等の募集及び認証を行う。	県	認証制度に係る制度設計	店舗等の募集及び認証	
		「琉球料理が味わえる店（仮）」店舗認証件数（累計）		
		―	30件	30件（60件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄食文化保存普及継承事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	19,688	17,073

予算事業名	沖縄食文化保存普及継承事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	21,348

令和6年度活動内容

沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、店舗認証を実施した。

令和7年度活動計画

沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、店舗認証を実施する。

活動指標名	「琉球料理が味わえる店（仮）」店舗認証件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、「琉球料理が味わえる店」の店舗認証を実施した。
	―	12件	30件（42件）	30件（60件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「琉球料理が味わえる店」の店舗募集及び目標の30件の認証を行うとともに、本認証制度の情報発信に取り組み、県民や観光客等へ琉球料理の普及・提供を推進した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　令和６年度は、パンフレットやポスター等を作成し本制度のＰＲ強化を図る。	パンフレットやポスター、WEBサイト等様々な媒体を作成・活用し、本制度に関する情報発信を実施した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	認証制度について、パンフレットやWEBサイト等を活用し情報発信を行ったものの、依然認知度が低い状況となっている。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	令和６年度の取組に加え、令和７年度は、SNSを活用した広報を実施し、認知度向上を図る。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施　策	①沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進
			施策の小項目名	○自然体験型観光や文化資源の観覧等
主な取組	持続可能なマリンレジャーの振興		対応する成果指標	平均滞在日数
施策の方向	・世界自然遺産をはじめとする地域の魅力ある自然環境や地域社会に配慮したエコツアー、マリンレジャー等の自然体験型観光や世界文化遺産をはじめとする文化資源の観覧、体験活動等を通じて文化についての理解を深めることを目的とする文化観光、ナイトタイムエコノミー等を活用した魅力ある都市型観光を推進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
経営改善につながるデジタルマーケティング施策を活用したモデル事業の実施するとともに、観光客における優良な事業者の選び方とレスポンシブルツーリズムの意識向上に向け、SNS等を活用した周知広報、マリンレジャー事業者を対象としたセミナーを実施する。	県,民間事業者等	SDGsや環境に配慮したマリンレジャーを推進するためのセミナー等の実施		
		セミナー参加事業者数（累計）		
		100事業者	100事業者（200事業者）	100事業者（300事業者）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	マリンレジャー魅力向上促進事業			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
一括交付金 （ソフト）	委託	7,337	7,189	

予算事業名			
R7年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
―	―		

令和6年度活動内容

沖縄のマリンレジャーに関する課題や観光客のニーズ等に関して整理を行うとともに、レスポンシブルツーリズムを観光客向けにプロモーションを行う。

令和7年度活動計画

活動指標名	セミナー参加事業者数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		マリンレジャー事業者へ海の安全対策と環境保全を目的としたレスポンシブルツーリズムの概念をセミナーで周知啓発した。
	184事業者	215事業者（399事業者）	34事業者（４３３事業者）	100事業者（300事業者）	34.0%	大幅遅れ	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
マリンレジャー事業者向けのセミナーを開催し、34事業者が参加した。 目標値を達成できなかった要因として、セミナー開催を前年度の２回から１回に減らしたこと。 また、周知方法については費用・紙削減の観点から郵送での周知を行わないこととしたが、そのことで参加者が減ったことが要因と考えられる。 ※累計目標としては、達成している。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○海域毎におけるルールの策定やレスポンシブルツーリズムの概念が普及できるように事業者及び観光客へ効果的に周知啓発を行う。	水難事故防止対策事業ポータルサイトへリンクを張り付けることにより、WEBサイト用のランディングページ閲覧数が増えた。

3　取組の検証（Check）

類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	セミナー実施回数を昨年度から減らしたこと、周知方法を変更したことにより参加者が減った。参加者数の増加に向けて、セミナーの開催時期等について検討する必要がある。

4　取組の改善案（Action）

類型	内容
⑧ その他	令和５年度の周知広報に戻しつつ事業者が参加しやすい11月～１月にセミナー実施を検討する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施　策	①沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進
			施策の小項目名	○自然体験型観光や文化資源の観覧等
主な取組	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業		対応する成果指標	平均滞在日数
施策の方向	・世界自然遺産をはじめとする地域の魅力ある自然環境や地域社会に配慮したエコツアー、マリンレジャー等の自然体験型観光や世界文化遺産をはじめとする文化資源の観覧、体験活動等を通じて文化についての理解を深めることを目的とする文化観光、ナイトタイムエコノミー等を活用した魅力ある都市型観光を推進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューを確立し、旅行商品造成プログラムモデルを構築する。	県	旅行商品造成プログラムモデルの構築		
		プログラムモデル構築数（累計）		
		2件	2件（4件）	2件（6件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	25,340	17,100

予算事業名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	15,444

令和6年度活動内容

沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューを確立するため、文化コンテンツを含む旅行商品造成プログラムモデルを構築した。

令和7年度活動計画

沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューを確立するため、文化コンテンツを含む旅行商品造成プログラムモデルを構築する。

活動指標名	プログラムモデル構築数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		旅行商品造成のほか、説明会やプロモーション活動を実施。
	2件	2件（４件）	2件（6件）	２件（６件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

沖縄特有の文化資源を活用した旅行商品造成プログラムモデルを２件(八重瀬町各所をめぐる芸能文化体験ツアー日帰りプラン、１泊２日プラン)構築した。

（2）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○有識者の意見を取り入れながら、滞在性の高い旅行商品造成プログラムモデルを検討する。	○有識者によるワーキンググループを開催し、助言やアドバイスを伺いながら旅行商品造成に取り組んだ。沖縄特有の文化資源を活用した旅行商品造成プログラムモデルを２件(八重瀬町各所をめぐる芸能文化体験ツアー日帰りプラン、１泊２日プラン)構築し、計34名の参加があった。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	旅行商品造成プログラムモデルの周知や販売に苦慮しているため、販売強化の取組を強化する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	ワーキンググループに周知や販売に関する知識を持ったアドバイザーを招き、販売に関する取り組みを強化する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施　策	①沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進
			施策の小項目名	○自然体験型観光や文化資源の観覧等
主な取組	日本遺産普及啓発事業		対応する成果指標	平均滞在日数
施策の方向	・世界自然遺産をはじめとする地域の魅力ある自然環境や地域社会に配慮したエコツアー、マリンレジャー等の自然体験型観光や世界文化遺産をはじめとする文化資源の観覧、体験活動等を通じて文化についての理解を深めることを目的とする文化観光、ナイトタイムエコノミー等を活用した魅力ある都市型観光を推進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県、市町村及び関係団体が実施する日本遺産関連イベント等の発信を行う。	県,市町村,関係団体等	県、市町村及び関係団体が実施する日本遺産関連イベント等の発信		
		Webサイトでの情報発信件数（累計）		
		12件	12件（24件）	12件（36件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	琉球文化日本遺産事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	負担	1,400	1,400

予算事業名	琉球文化日本遺産事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	負担	1,400

令和6年度活動内容	令和7年度活動計画
琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を促した。	琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を促す。

活動指標名	Webサイトでの情報発信件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		Webサイト等を活用し、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を促した。
	11件	10件（21件）	11件	12件（36件）	91.7%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

Webサイトでの情報発信件数について、目標12件に対し実績11件の情報発信を実施。Webサイト等を活用し、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を促すことにより、地域の活性化及び観光振興につながった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　引き続き、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信していく。	琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信するため、構成団体に関するイベント等の情報発信を合わせて行った。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	琉球文化日本遺産の更なる認知度向上のため、新たな周知方法を検討する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑦ 取組の時期・対象の改善	WEBサイトのほか、SNSなど様々な媒体を活用し、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信していく。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施 策	①沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進
			施策の小項目名	○沖縄の魅力を生かした質の高い観光の推進
主な取組	ウェルネス等に関する観光コンテンツの開発		対応する成果指標	平均滞在日数
施策の方向	・心身の健康を希求するウェルネスや癒やし、リフレッシュ等の国内外の旅行者が求めるニーズに対応した沖縄の魅力を生かした質の高い観光を推進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
民間事業者の実施する沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光コンテンツ開発を支援することにより、観光消費額の向上や滞在日数の延伸等、沖縄の抱える観光課題解決を図る。	県	ウェルネス等に関する観光コンテンツの開発への支援		
		支援件数（累計）		
		1件	1件（2件）	1件（3件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄観光コンテンツ開発支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	補助	83,520	83,668

令和6年度活動内容

沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う事業者11件を支援した。

予算事業名	沖縄観光コンテンツ開発支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	補助	89,723

令和7年度活動計画

沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う事業者10件を支援する。

活動指標名	支援件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う民間企業等の自主的な取り組みを支援した。
	1件	0件（１件）	2件（3件）	１件（３件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

補助事業への応募を増加させるため、補助事業を公募する段階で、公募資料や公募説明会等で「心身の健康増進や回復に繋がる観光コンテンツ」を事例として挙げ申請を促した結果、２件の支援に繋がり、進捗状況は順調となった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○補助事業への応募を増加させるため、補助事業を公募する段階で、公募資料や公募説明会等で「心身の健康増進や回復に繋がる観光コンテンツ」を事例として挙げ、申請を促す。	○補助事業公募の周知を広く行い、また補助事業を公募する段階で、公募説明会等で「心身の健康増進や回復に繋がる観光コンテンツ」を事例として挙げたり、過去の事例を提示し、申請を促した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	沖縄旅行に対して「心身の健康増進や回復」を求める人たちが増えてきており、そのニーズに対する潜在的価値は多いが、コンテンツは少ない。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	今後もウェルネス関連の申請件数を増やすため、過去事例を提示し、積極的に発信する必要がある。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施 策	②多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開
			施策の小項目名	○滞在日数の延伸や観光消費額の向上
主な取組	海外富裕層向けプロモーション事業		対応する成果指標	国内客及び外国空路客の一人当たり観光消費額
施策の方向	・沖縄観光ブランドであるBe.Okinawaのイメージを基に、国内、海外の各市場においてターゲットの特性に応じた戦略的なプロモーション活動を展開し沖縄観光の価値を訴求することで、富裕層等をはじめとする、より消費単価の高い層の取り込みを図り、滞在日数の延伸や観光消費額の向上に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄が持つ豊かな自然や多様な文化、独特な雰囲気を持つ空間や時間などこれらソフトパワーを活用し、富裕層を取り込むため、海外富裕層市場に向けたプロモーションを実施する。	県	富裕層（海外）へのプロモーションの実施		
		プロモーション実施回数（累計）		
		3回	3回（6回）	3回（9回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄観光グローバル事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	643,185	531,999

令和6年度活動内容

海外富裕層市場向け国際観光商談会への出展、富裕層専門旅行業者の招聘、高付加価値旅行商品の造成等を通じた富裕層向けプロモーションを実施した。

予算事業名	沖縄観光グローバル事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	576,323

令和7年度活動計画

海外富裕層市場向け国際観光商談会への出展、富裕層専門旅行業者の招聘、高付加価値旅行商品の造成等を通じた富裕層向けプロモーションを実施する。

活動指標名	プロモーション実施回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	3回	3回（６回）	3回（9回）	３回（９回）	100.0%	順調	国内及び海外の富裕層専門旅行業者各１社（計２社）をFAMツアーに招聘し、県内観光関連事業者が持つ高付加価値旅行商品の発掘及び当該事業者を通じた富裕層向けプロモーションを実施した。

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
外国人観光客の受入再開に伴う海外富裕層の沖縄への観光意欲の増加を背景として、国内外の富裕層専門旅行業者の招聘が計画どおり実施され、高付加価値旅行商品の造成に繋がった。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
〇海外富裕層の誘客競争が加速する中、沖縄の認知度や魅力を十分にＰＲするため、県内観光事業者が一体となり誘客プロモーション活動に活用できる新規コンテンツ造成等により、さらなる需要の創出を図る。 〇海外富裕層向け有名旅行誌への県内コンテンツ紹介記事出稿や、国内外の富裕層専門旅行業者による富裕層向けの沖縄情報の発信・販売機会を継続的に確保する。 〇地域集落における料理、交流、生活体験等に対する国内外富裕層旅行会社からの問い合わせや需要が増加していることを受け、国内外富裕層のニーズに対応可能な高付加価値旅行商品の多様化に取り組む。	フランス・カンヌで開催される富裕層向け旅行者が集う商談会ILTMに出展し、県内事業者と一緒に日本の中でも特色の強い沖縄で体験できる高付加価値観光をプロモーションした。

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	コロナが明けて欧米豪の富裕層の旅行欲求も高まってきている中、実施してきた海外富裕層市場に対する観光コンテンツのプロモーションにより、沖縄の認知度向上が進んでいる。
⑥ 他地域等の動向(外部環境の変化)	日本全体で富裕層インバウンドを誘客する取組が進んできており、沖縄以外の地方も富裕層観光の取組が広がってきている。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	海外富裕層の誘客競争が加速する中、沖縄の認知度向上のため、行政と県内観光事業者が一体となった誘客プロモーション活動を実施し、沖縄の富裕層観光の情報発信を図る。
⑤ 情報発信等の強化・改善	有力な国内外の富裕層専門旅行業者と県内事業者とのコネクションの構築の機会を図り、富裕層向けの沖縄情報の発信・販売機会を継続的に確保する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施 策	②多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開
			施策の小項目名	○滞在日数の延伸や観光消費額の向上
主な取組	国内富裕層向けプロモーション事業		対応する成果指標	国内客及び外国空路客の一人当たり観光消費額
施策の方向	・沖縄観光ブランドであるBe.Okinawaのイメージを基に、国内、海外の各市場においてターゲットの特性に応じた戦略的なプロモーション活動を展開し沖縄観光の価値を訴求することで、富裕層等をはじめとする、より消費単価の高い層の取り込みを図り、滞在日数の延伸や観光消費額の向上に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄が持つ豊かな自然や多様な文化、独特な雰囲気を持つ空間や時間などこれらソフトパワーを活用し、富裕層を取り込むため、国内富裕層市場に向けたプロモーションを実施する。	県	富裕層（国内）へのプロモーションの実施		
		プロモーション実施回数（累計）		
		2回	2回（4回）	2回（6回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	国内需要安定化事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	322,434	271,025

令和6年度活動内容

国内富裕層情報媒体への出稿と富裕層向け商品開発に向けた県内観光関連事業者間ネットワーク会議実施等で国内富裕層向けプロモーションを実施した。

予算事業名	国内需要安定化事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	231,957

令和7年度活動計画

国内富裕層情報媒体への出稿と富裕層向け商品開発に向けた県内観光関連事業者間ネットワーク会議実施等で国内富裕層向けプロモーションを実施する。

活動指標名	プロモーション実施回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	2回	2回（4回）	2回（6回）	２回（６回）	100.0%	順調	国内富裕層向け雑誌への特集記事出稿１件を実施、富裕層受入に係るコンテンツ発掘及び販路拡大に向けた連携強化のための県内観光関連事業者ネットワーク会議を４回開催した。

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
国内の富裕層に対するアプローチをより現実的に見据え、外部有識者と沖縄県内観光関連事業者の連携をこれまでよりも密にしながら実施、参加者からの観光資源の把握と商品化に取り組んだ。有識者と参加者同士の連携で富裕層向けコンテンツ造成が行われ、商品に関する問い合わせに繋がっている。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
〇国内高付加価値旅行者等の誘客競争が加速する中、沖縄の認知度や魅力を十分にＰＲするため、県内観光事業者が一体となり誘客プロモーション活動に活用できる新規コンテンツ造成等さらなる需要の創出を図る。 〇海外富裕層向け有名旅行誌への県内コンテンツ紹介記事出稿や、国内外の富裕層専門旅行業者による富裕層向けの沖縄情報の発信・販売機会を継続的に確保する。 〇地域集落における料理、交流、生活体験等に対する国内外富裕層旅行会社からの問い合わせや需要が増加していることを受け、国内外富裕層のニーズに対応可能な高付加価値旅行商品の多様化に取り組む。	国内外の富裕層専門旅行業者を招聘したFAMツアーを実施し、県内観光関連事業者が持つ高付加価値旅行商品の発掘及びコンテンツ造成を行い、より富裕層の誘客に繋がることを目指したプロモーションを実施した。また、富裕層受入に係るコンテンツ発掘及び販路拡大に向けた連携の強化と拡大のための県内観光関連事業者ネットワーク会議を開催し、より富裕層の誘客に繋がる取組を実施した。

3　取組の検証（Check）

類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	国内富裕層市場に対する観光コンテンツのプロモーションにより、従来のマスツーリズム向け観光イメージからの脱却が進んでおり、「量から質」の沖縄観光の転換が進んでいる。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	ＳＤＧｓや自然体験、健康といったテーマ性のある旅行に対する需要の増加とともに滞在期間の長期化等、観光客のニーズや期待が沖縄でしか得られない体験を追求する方向へと変化している。
⑥ 他地域等の動向(外部環境の変化)	国内旅行需要の高まりを受け、国内の多くの自治体や観光地において富裕層誘客の取組が進んでおり、地域間での競争が激しくなっている。

4　取組の改善案（Action）

類型	内容
② 連携の強化・改善	国内高付加価値旅行者等の誘客競争が加速する中、沖縄の認知度や魅力を十分にＰＲするため、県内観光事業者が一体となり誘客プロモーション活動に活用できる新規コンテンツ造成等さらなる需要の創出を図る。
⑤ 情報発信等の強化・改善	FAMツアー後に商談会を実施する等、県内の事業者をFAMで招聘した旅行社と交流してもらうことで、その情報を富裕層に届けてもらう取組を実施する。
⑥ 変化に対応した取組の改善	地域集落における料理、交流、生活体験等に対する国内外富裕層旅行会社からの問い合わせや需要が増加していることを受け、国内外富裕層のニーズに対応可能な高付加価値旅行商品の多様化に取り組む。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施 策	②多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開
			施策の小項目名	○ターゲットに応じたきめ細かな国内誘客活動の展開
主な取組	国内需要安定化事業		対応する成果指標	国内客及び外国空路客の一人当たり観光消費額
施策の方向	・国内誘客については、独自の自然や文化等の地域ごとに異なる魅力を発信するなど、ターゲットに応じたきめ細かな誘客活動を展開し、平和学習や民泊体験、SDGsへの取組など、沖縄でしか体験できない魅力ある教育旅行を推進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
国内観光客の安定的かつ継続的な確保に向け、リゾートウェディングや高付加価値旅行等の推進を含む戦略的な観光プロモーション活動、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」による観光ブランディングの実施により、沖縄観光需要の新規創出と沖縄観光経験者層のリピーター化促進に取り組む。	県	国内でのプロモーションの実施		
		プロモーション実施回数（累計）		
		20回	20回（40回）	20回（60回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	国内需要安定化事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	316,980	271,025

予算事業名	国内需要安定化事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	231,957

令和6年度活動内容

メディアの活用や航空会社等と連携を強化したプロモーション、沖縄観光ブランドのイメージ発信等を実施し、富裕層向けプロモーションにも取組んだ。

令和7年度活動計画

国内観光客の安定的かつ継続的な確保に向けた観光プロモーションを実施し、沖縄観光需要の新規創出と沖縄観光経験者層のリピーター化促進に取り組む。

活動指標名	プロモーション実施回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		国内観光客の安定的かつ継続的な確保に向けた、メディア・航空会社・空港・旅行会社等連携プロモーション、沖縄観光ブランドによる観光ブランディング、富裕層向けプロモーション等を実施した。
	22回	26回	52回（100回）	20回（60回）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

メディア活用プロモーション７回、航空会社・空港・旅行会社等連携プロモーション13回、メディア招聘８回、県外イベントプロモーション19回、ウェブサイト等デジタルプロモ―ション３回、世界自然遺産プロモーション２回の合計52回のプロモーションを実施し、目標値を上回ったことから、順調と判定した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○新型コロナウイルス感染症対策の行動制限もなくなったことにより、旺盛になった旅行需要を取り込むべく、全国各地でのイベント出展などのプロモーションを積極的に行っていく。 ○ウェブ等を活用した広告配信を行い、情報発信の強化に努めていく。	○国内観光客の安定的かつ継続的な確保に向け、メディア活用、航空会社・空港・旅行会社等連携、メディア招聘、県外イベント出展等、多角的かつ戦略的な観光プロモーション活動の実施により、沖縄観光需要の新規創出と沖縄観光経験者層のリピーター化促進に取り組んだ。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
③ 他地域等との比較（内部要因）	沖縄観光需要の新規創出と沖縄観光経験者層のリピーター化促進のため、海やビーチリゾート等の渋滞のイメージから脱却し、国内他地域と差別化できる沖縄の独自性や希少性のPRを強化する必要がある。
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	長引く円安の影響により、日本国内では海外旅行よりも安価で短い旅程の国内旅行のニーズや選好傾向が顕著である。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	エシカルトラベル等のテーマ型観光の訴求や、琉球王国の歴史文化、世界自然遺産構成資産である沖縄島北部及び西表島といった、独自性及びストーリー性のあるコンテンツを積極的に取り上げて発信する。
⑥ 変化に対応した取組の改善	ハワイや東南アジア等の海外リゾート等を好んでいた日本人観光客に対し、国内でも独自性や非日常性のある沖縄という旅先を積極的に発信・訴求し、国内観光客の中長期休暇中の観光ニーズを取り込む。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施 策	②多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開
			施策の小項目名	○ターゲットに応じたきめ細かな国内誘客活動の展開
主な取組	教育旅行推進強化事業		対応する成果指標	国内客及び外国空路客の一人当たり観光消費額
施策の方向	・国内誘客については、独自の自然や文化等の地域ごとに異なる魅力を発信するなど、ターゲットに応じたきめ細かな誘客活動を展開し、平和学習や民泊体験、SDGsへの取組など、沖縄でしか体験できない魅力ある教育旅行を推進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄への修学旅行を安定的に確保するため、沖縄修学旅行プロモーションの実施や実施予定校に対する事前・事後学習支援、商品造成の支援等を行う。また実施時期分散化など受入体制整備に向けた取組を実施する。	県	教育旅行プロモーションの実施	沖縄修学旅行プロモーションの実施	
		プロモーション実施回数（累計）		
		6回	6回（12回）	6回（18回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	教育旅行推進強化事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	102,590	82,092

予算事業名	教育旅行推進強化事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	87,013

令和6年度活動内容

修学旅行推進協議会開催、修学旅行プロモーション、事前事後学習支援、修学旅行模擬体験提供、海外教育旅行誘致活動等を実施した。

令和7年度活動計画

修学旅行推進協議会開催、修学旅行プロモーション、事前事後学習支援、修学旅行模擬体験提供、海外教育旅行誘致活動等を実施する。

活動指標名	プロモーション実施回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		修学旅行推進協議会開催（１回）、プロモーション回数（９回）、事前事後学習支援（１２６件）、修学旅行模擬体験提供（８件）等を実施した。
	7回	10回（17回）	10回（27回）	６回（18回）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

例年東京で行っている相談会のほか、兵庫でも相談会を開催し、長野と福岡ではセミナーと称した小規模催事を実施した。また、海外における催事への参加もあり目標を達成した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○国内市場の減少が見込まれる状況において、国内修学旅行需要を継続的かつ安定的に確保していくため、効果的なプロモーション活動や、学校のニーズに即した教育プログラムの造成等を実施する。 ○海外や国内他地域から行き先を変更する学校に対して、沖縄への需要の取り込みを図る。	○国内修学旅行相談会・セミナーを４回開催したほか、県外における相談会へ３回参加し、積極的なプロモーション活動を実施した。また、県主催の相談会・セミナーでは県内事業者等のプレゼンテーションの場を設け、個別相談に繋がるなど評価が高かった。 ○修学旅行で探求学習等の実施を希望する学校へ、訪問場所や交通手段などの工程を変更し需要の分散化を促す取り組みを別事業で実施し、４６件の支援を行った。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	沖縄への修学旅行の実施が４月～６月、１０月～１２月に集中することから、閑散期への実施へ向けたプロモーションを行う必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	例年修学旅行を実施していない時期への変更を検討してもらうため、教員向けのモニターツアーを実施する。また、受け入れ態勢強化に向けて県内事業者向けの商品造成にかかるセミナー等を開催する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施 策	②多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開
			施策の小項目名	○特定地域に偏らない海外誘客活動の展開
主な取組	沖縄観光グローバル事業（海外重点市場）		対応する成果指標	国内客及び外国空路客の一人当たり観光消費額
施策の方向	・海外誘客については、近隣のアジア市場のみならず、欧米豪露等の新規市場や潜在市場での開拓を進め、特定地域に偏らない誘客活動を展開し、欧米豪露等の長期滞在型リゾート需要や海外富裕層等の消費単価の高い層の取り込みを図ることで、質の向上に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
台湾、中国本土、韓国及び香港から外国人観光客を誘客することを目的に、旅行博への出展や商談会開催、各市場特性に応じたプロモーションを展開する。	県	海外重点市場（台湾、香港、中国本土、韓国）でのプロモーション等の実施		
		プロモーション実施地域数（内訳）		
		4箇所	4箇所（継続4箇所）	4箇所（継続4箇所）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄観光グローバル事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	643,185	550,134

予算事業名	沖縄観光グローバル事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	576,323

令和6年度活動内容

２カ国・２地域（台湾、香港、中国本土、韓国）の実施となった。

令和7年度活動計画

プロモーション実施地域数は、２カ国・２地域（台湾、香港、中国本土、韓国）を計画している。

活動指標名	プロモーション実施地域数（内訳）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		重点市場（台湾、韓国、香港、中国本土）において、旅行博・現地イベント、商談会、旅行会社およびメディア招聘、航空会社および旅行会社とのタイアッププロモーションを実施した。
	7箇所	12箇所（継続４箇所）	4箇所	４箇所（継続４箇所）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

委託事業者および県海外事務所と連携しながら、国際線の路線回復に向けた取組とともに海外誘客プロモーション活動を２カ国・２地域（台湾、香港、中国本土、韓国）で実施できたことから、進捗状況は順調と判定した。令和6年度は那覇空港国際線の回復が進み、同年度末時点の運航状況は13路線22社運航となった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○県内のインバウンドの誘客体制の回復に向けて、県内事業者に共同出展を呼びかけ官民いったいとなった誘客体制を整備することで、さらなる需要の創出を図る。 ○航空会社や旅行会社に対してセールス活動を強化することにより、新たな需要の創出や既存の需要の安定化を図り、路線回復につなげる。	○那覇空港国際線の再開および路線回復により、令和6年暦年の外国人入域観光客数は184万5,700人となった。 ○台湾市場では台中－那覇路線のほか、韓国市場では仁川－新石垣空港や下地島空港への離島路線が再開した。同時期に韓国で開幕したトラベルフェアでは県内事業者と出展し現地で同路線をＰＲし、順調な送客へとつながっている。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	外国人入域観光客数は定期路線の復活や新規路線の就航を背景に増加傾向が続いているが、今後は海外富裕層等の消費単価の高い層の取り込みを目的としたプロモーションを強化する必要がある。
⑥ 他地域等の動向(外部環境の変化)	日本政府は2030年に6,000万人の外国人観光客数を目標としており、今後も本県への入域客数の増加が見込まれることから、市場動向・特性の分析などを実施する必要がある。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	高付加価値商品を取り扱う県内事業者との共同出展など、官民いったいとなった取り組みを実施する。
⑥ 変化に対応した取組の改善	変化する市場動向に対応するため、県海外事務所等を活用した情報収集・分析を実施し、市場および時宜に応じたプロモーション（展示会・商談会出展、招聘事業等）を実施する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施 策	②多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開
			施策の小項目名	○特定地域に偏らない海外誘客活動の展開
主な取組	沖縄観光グローバル事業（戦略開拓市場等）		対応する成果指標	国内客及び外国空路客の一人当たり観光消費額
施策の方向	・海外誘客については、近隣のアジア市場のみならず、欧米豪露等の新規市場や潜在市場での開拓を進め、特定地域に偏らない誘客活動を展開し、欧米豪露等の長期滞在型リゾート需要や海外富裕層等の消費単価の高い層の取り込みを図ることで、質の向上に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
欧米やシンガポール、タイ、マレーシアなどの東南アジアから外国人観光客を誘客することを目的に、旅行博への出展や商談会開催、各市場特性に応じたプロモーションを展開する。	県	戦略開拓市場（タイ、シンガポール、マレーシア等）、新規開拓市場（欧州、北米、豪州、露）、潜在市場（インド、中東、北欧）でのプロモーション等の実施		
		プロモーション実施地域数		
		7箇所	7箇所	7箇所

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄観光グローバル事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	643,185	550,134

予算事業名	沖縄観光グローバル事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	576,323

令和6年度活動内容

プロモーション実施地域数は、７ヵ所の目標に対して、７ヵ所の実施となった。

令和7年度活動計画

プロモーション実施地域数は、４ヵ所（英、仏、豪、独）を計画している。

活動指標名	プロモーション実施地域数		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		戦略開拓市場（東南アジア）および新規開拓市場（欧州、豪州、北米）において、旅行博、セミナー・商談会、旅行会社およびメディア招聘、市場プロモーション等を実施した。
	8箇所	11箇所	7箇所	７箇所	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

委託事業者、沖縄県海外事務所および沖縄観光レップ（英、仏、独、豪）と連携し、シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、豪、英、独、仏、米、スペイン、ハンガリーの11ヵ所で誘客プロモーションを実施した。令和６年度は那覇空港国際線の路線回復が進み13路線22社運航となった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○県内のインバウンドの誘客体制の回復に向けて、県内事業者に共同出展を呼びかけ官民いったいとなった誘客体制を整備することで、さらなる需要の創出を図る。 ○航空会社や旅行会社に対してセールス活動を強化することにより、新たな需要の創出や既存の需要の安定化を図り、路線回復につなげる。	○那覇空港国際線の路線回復により、令和６年度暦年の外国人入域観光客数は184万5,700人まで回復した。 ○令和６年度については、３社がバンコク－那覇を結ぶ（台北・高雄経由）を新規就航し、令和6年末時点の運航状況は13路線22社運航まで回復した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	本県の令和６年度の外国人入域観光客については、コロナ禍後の定期便路線の復活、新規路線の就航のほか、好調なクルーズ市場を背景に増加傾向が続いている。
⑥ 他地域等の動向(外部環境の変化)	令和６年度の日本の訪日観光客数は過去最高の3,687万人を記録した。政府は2030年には6,000万人の入域観光客を目標としており、市場全体の動きから本県への訪日観光客数の増加が見込まれる。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	インバウンドの誘客を推進するため、県内事業者との共同出展による認知度向上の取り組みのほか、県海外事務所と連携し、現地航空会社やクルーズ会社へのプロモーションなどの取り組を強化する。
⑥ 変化に対応した取組の改善	一部路線で定期便が就航していることから、路線維持や搭乗率向上のため、定期便の安定運航に向けたプロモーション（展示会等出展）やインセンティブ事業の実施に取り組む。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施 策	②多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開
			施策の小項目名	○広範なニーズを多角的に把握した各コンテンツの効果的な発信
主な取組	カップルアニバーサリーツーリズム事業		対応する成果指標	国内客及び外国空路客の一人当たり観光消費額
施策の方向	・、沖縄型特定免税店制度を活用したショッピング、レジャー、スポーツ、リゾートウェディング、MICE、ワーケーションなど、広範なニーズを多角的に把握し、各コンテンツの効果的な発信により消費額の高い観光客の誘客を図ります。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
リゾートウェディング等を沖縄観光ブランドの一つと位置付け、国内外に向けてブランディングおよびプロモーションを実施し、挙式組数の増加、観光消費額の向上を図る。	県	カップルアニバーサリーのプロモーションの実施		
		プロモーション実施回数（累計）		
		6回	6回（12回）	6回（18回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	カップルアニバーサリーツーリズム事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	35,550	33,647

令和6年度活動内容

キービジュアルを制作し、国内外に配信するとともに、国内２都市および台湾および香港でウェディングフェアを開催する。

予算事業名	国内需要安定化事業、沖縄観光グローバル事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	55,964

令和7年度活動計画

キービジュアルを制作し、国内外に配信するとともに、国内１都市および台湾、香港でウェディングフェアを開催する。韓国でも情報発信を行う。

活動指標名	プロモーション実施回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		国内外に向けてブランドイメージの浸透を図るとともに、ウェディングフェアを開催し、沖縄リゾートウェディングの魅力を発信し、認知度向上と需要喚起を図った。
	8回	8回	8回（24回）	６回（18回）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
目標値であるプロモーション回数６回に対し、８回を達成した。 継続したブランディングイメージの発信、需要喚起のプロモーション等によって、令和６年のリゾートウエディング実施組数は20,153組とコロナ禍前を上回る実施組数となった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○プロポーズ、ウェディング、ハネムーン、バウ・リニューアルなど、カップルの記念日を沖縄で過ごすショートムービーや画像を制作、露出することで、沖縄でのウェディング実施を訴求する。 ○新規チャペルなどの情報や、アフターウェディングの情報などを発信し、ハネムーンを兼ねた沖縄ウェディングの魅力を伝えることで、観光消費額の向上と滞在日数を図る。 ○円安や新型コロナウィルス感染症の影響により、海外挙式のハードルがまだ高いことから、国内外でのプロモーションを実施し、需要の取込を図る。	・ブランドをイメージさせるビジュアルを５本（キービジュアル、プロポーズ編、ウェディング編、ハネムーン編、バウ・リニューアル編）制作し、国内外に向けて配信等を行った。 ・国内２ヵ所（東京、大阪）にてウェディングフェアを開催すると同時に東京においては都内イベントに出展を行った。台湾および香港においてもフェアの開催および出展を実施した。

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	物価高等の影響から、国内市場においては、沖縄以外の他県におけるウエディングの需要が高まっている。そのため、円安の影響もあり来県しやすい海外市場においてプロモーションを強化する。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	県海外事務所と連携し、海外における広報を強化し、ウエディングプロモーションを実施する。また、県内事業者の受け入れ態勢の強化のため、情報発信やメイクアップにかかるセミナーを実施する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施　策	③質の高いクルーズ観光の推進
			施策の小項目名	○多様な国際クルーズネットワークの拡充等
主な取組	クルーズ船の誘致		対応する成果指標	プレミアム／ラグジュアリークラスのクルーズ船の寄港回数の割合
施策の方向	・フライ・アンド・クルーズ等の新たな旅行形態についても、良質な観光・ツーリズムの振興を要件に、沖縄観光の付加価値を創出する方策として展開を図り、その誘致を含めた多様な国際クルーズネットワークの拡充等に取り組みます。クルーズ船寄港による経済的利益の創出と地域への還元のあり方について検討を図ります。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
エクスペディションクルーズ、フライ・アンド・クルーズの誘致活動、国内外での展示会への出展、クルーズ会社と連携した共同広告などのプロモーションを展開を行った。また、関係団体と連携し、受入体制の強化を図った。	県	プレミアム／ラグジュアリークラスのクルーズ船をターゲットにしたプロモーションの展開		
		プロモーション実施地域数		
		５地域	５地域	５地域

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	戦略的クルーズ観光推進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	50,510	50,554

令和6年度活動内容

ラグジュアリークルーズやフライ・アンド・クルーズの誘致活動、国際展示会への出展の他、クルーズ船の受入対応・強化を行った。

予算事業名	戦略的クルーズ観光推進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	67,120

令和7年度活動計画

ラグジュアリークルーズやフライ・アンド・クルーズの誘致活動、国際展示会への出展の他、クルーズ船の受入対応・強化を行う。

活動指標名	プロモーション実施地域数		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		ラグジュアリー・プレミアムクルーズ、フライ・アンド・クルーズの誘致活動のため、日本国内や米国、フィリピンなど５地域での寄港地としての沖縄の発信を行った。
	5地域	5地域	5地域	５地域	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

日本国内や米国、フィリピンなど５地域での寄港地としての沖縄の発信を行い、ラグジュアリー・プレミアムクルーズ、フライ・アンド・クルーズ船の誘致の活動を行うことができた。令和６年の沖縄県内への寄港回数387回となった。（令和５年145回）

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○今後も寄港は増えていくことが予想されるため、ＣＩＱ体制強化に向け関係機関との連携強化や乗船下船の導線などソフト面での工夫・改善等を行い、人員増を含め、段階的に受入体制の強化を行う。	寄港回数が増加するにあたり、沖縄地区税関との調整会議や那覇クルーズ促進連絡協議会などで那覇ハーリー開催時の那覇港（泊第８、第２）同時入港時する際に交通混雑の案内など関係団体と連携を図り、受入体制の強化をはかることができた。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	中国からのクルーズ船運航が再開され、大型のカジュアル船の寄港回数が大幅に増加となったことにより、二次交通の負担やラグジュアリー・プレミアムクラスクラスの寄港割合が減少している。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	現在、那覇港や石垣港への寄港が集中しており、今後も増加が見込まれるため、受入の負担軽減が必要となる。那覇、石垣港以外の寄港地の自治体と連携し、他の港への誘致を行い寄港地の分散化を図る。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施 策	④観光消費額向上に資する新たな拠点形成や観光プログラムの創出
			施策の小項目名	○観光地形成促進地域制度の活用等による民間投資の促進
主な取組	観光地形成促進地域制度の活用促進		対応する成果指標	一人当たり観光消費額（娯楽・入場費、宿泊費）
施策の方向	・観光消費額の向上や滞在日数の延長を図るため、観光地形成促進地域制度の活用等により民間投資を促進させ、北部圏域で整備が進められる大規模テーマパーク事業計画など魅力ある民間観光施設の整備促進、雨天時・ボトム期・ナイトライフなど多様な観光ニーズに対応した付加価値の高い観光コンテンツの構築や、体験プログラムの開発に取り組みます。既存宿泊施設へのデジタル技術の導入やリノベーション等を促進させることで、高付加価値化等による収益最大化及び経営基盤の安定化を図るとともに、国内外の多様なニーズに対応可能な宿泊施設等の整備の促進に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
高い国際競争力を有する魅力ある観光地の形成を図るため、沖縄振興特別措置法に基づいた観光地形成促進地域制度を活用し、国内外からの観光旅客のニーズに対応できる観光関連施設の整備を促進する。	県	計画策定、制度周知・広報活動	制度周知・広報活動、活用予定事業者への助言等の関与	
		観光地形成促進措置実施計画の認定件数（累計）		
		2件	2件（4件）	3件（7件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課　【　098-866-2077　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	観光地形成促進地域推進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	5,099	5,501

予算事業名	観光地形成促進地域推進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	5,785

令和6年度活動内容

令和７年度税制改正に向けた内閣府との調整を行う。また、事業者等への周知活動を実施するとともに、電子申請システムによる認定手続きを行った。

令和7年度活動計画

令和９年度税制改正に向けた内閣府との調整を行う。また、事業者等への周知活動を実施するとともに、電子申請システムによる認定手続きを行う。

活動指標名	観光地形成促進措置実施計画の認定件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		ワンストップ相談窓口で企業への制度の周知と相談対応を行ったほか、関係団体等に対して制度の周知を図るとともに、事業者向けの手引き、Ｑ＆Ａ等を作成した。
	0件	１件（１件）	３件（４件）	３件（７件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和６年度観光地形成措置実施計画の認定について、認定件数は３件であった。制度内容を十分に知らないという事業者も多いことから、同制度の活用促進に向け、引き続き企業、関係団体、業界等への税制活用の積極的な周知・広報活動等に取り組む。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　観光関連団体、各関係業界、市町村の観光及び税務担当部署、税理士会、金融機関等との協力・連携を図ることで、制度の活用促進に向けた周知強化や制度活用が見込まれる民間投資案件の把握を行う。	○　令和６年度は、設備投資に関心のある個別企業、関係団体、関係業界に税制の概要説明や周知依頼を28件行うことで、観光関連施設の整備に係る促進を図った。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	令和６年度に観光関連団体、各関係業界等に対し、制度活用の周知を行ったが、制度内容を十分に知らないという事業者も一定数いると考えられることから、より一層の周知強化を図る必要がある。
① 県の制度、執行体制（内部要因）	認定要件を満たす民間投資案件を事前に把握できるよう、情報収集を行う必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	観光関連団体、関係業界との連携体制の強化を図り、制度活用が見込まれる民間投資案件の把握を行う。また、メールマガジン配信や関係団体用ウェブサイトへの掲載なども活用した周知を行う。
② 連携の強化・改善	庁内の担当班長会議を行い、税制関係部署間での情報共有を行う。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施 策	④観光消費額向上に資する新たな拠点形成や観光プログラムの創出
			施策の小項目名	○観光地形成促進地域制度の活用等による民間投資の促進
主な取組	民間観光関連施設の投資の促進		対応する成果指標	一人当たり観光消費額（娯楽・入場費、宿泊費）
施策の方向	・観光消費額の向上や滞在日数の延長を図るため、観光地形成促進地域制度の活用等により民間投資を促進させ、北部圏域で整備が進められる大規模テーマパーク事業計画など魅力ある民間観光施設の整備促進、雨天時・ボトム期・ナイトライフなど多様な観光ニーズに対応した付加価値の高い観光コンテンツの構築や、体験プログラムの開発に取り組みます。既存宿泊施設へのデジタル技術の導入やリノベーション等を促進させることで、高付加価値化等による収益最大化及び経営基盤の安定化を図るとともに、国内外の多様なニーズに対応可能な宿泊施設等の整備の促進に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
高い国際競争力を有する魅力ある観光地形成を図るため、沖縄振興特別措置法に基づいた観光地形成促進地域制度を活用し、国内外からの観光旅客のニーズに対応できる観光関連施設の整備を促進する。	県	計画策定、制度周知・広報活動	制度周知・広報活動	
		特定民間観光関連施設の投資額 ※跡地利用施設など特殊要因を除く		
		561,000千円	702,000千円	842,000千円

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課　【　098-866-2077　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	観光地形成促進地域推進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	5,099	5,501

令和6年度活動内容

令和７年度税制改正に向けた内閣府との調整を行う。また、事業者等への周知活動を実施するとともに、電子申請システムによる認定手続きを行った。

予算事業名	観光地形成促進地域推進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	5,785

令和7年度活動計画

令和９年度税制改正に向けた内閣府との調整を行う。また、事業者等への周知活動を実施するとともに、電子申請システムによる認定手続きを行う。

活動指標名	特定民間観光関連施設の投資額 ※跡地利用施設など特殊要因を除く		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		ワンストップ相談窓口で企業への制度の周知と相談対応を行ったほか、関係団体等に対して制度の周知を図るとともに、申請事業者向けの手引き、Ｑ＆Ａ等を作成した。
	564,152千円	827,727千円	204,294千円	842,000千円	24.3%	大幅遅れ	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和６年度は、観光地形成促進措置実施計画）に係る認定申請を３件認定したが、当該申請の取得資産額が目標値には届かなかった。 制度内容を十分に知らない事業者も多いことから、制度の活用促進に向け、引き続き企業、関係団体、業界等への税制活用の積極的な周知・広報活動等に取り組む。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○　観光関連団体、各関係業界、市町村の観光及び税務担当部署、税理士会、金融機関等との協力・連携を図ることで、制度の活用促進に向けた周知強化や制度活用が見込まれる民間投資案件の把握を行う。	○　令和６年度は、設備投資に関心のある個別企業、関係団体、関係業界に税制の概要説明や周知依頼を28件行うことで、観光関連施設の整備に係る促進を図った。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	令和６年度に観光関連団体、各関係業界等に対し、制度活用の周知を行ったが、制度内容を十分に知らないという事業者も一定数いると考えられることから、より一層の周知強化を図る必要がある。
① 県の制度、執行体制（内部要因）	認定要件を満たす民間投資案件を事前に把握できるよう、情報収集を行う必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	観光関連団体、関係業界との連携体制の強化を図り、制度活用が見込まれる民間投資案件の把握を行う。また、メールマガジン配信や関係団体用ウェブサイトへの掲載なども活用した周知を行う。
② 連携の強化・改善	庁内の担当班長会議を行い、税制関係部署間での情報共有を行う。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施 策	④観光消費額向上に資する新たな拠点形成や観光プログラムの創出
			施策の小項目名	○多様な観光ニーズに対応した付加価値の高い観光コンテンツの構築
主な取組	付加価値の高い観光コンテンツの開発		対応する成果指標	一人当たり観光消費額（娯楽・入場費、宿泊費）
施策の方向	・観光消費額の向上や滞在日数の延長を図るため、観光地形成促進地域制度の活用等により民間投資を促進させ、北部圏域で整備が進められる大規模テーマパーク事業計画など魅力ある民間観光施設の整備促進、雨天時・ボトム期・ナイトライフなど多様な観光ニーズに対応した付加価値の高い観光コンテンツの構築や、体験プログラムの開発に取り組みます。既存宿泊施設へのデジタル技術の導入やリノベーション等を促進させることで、高付加価値化等による収益最大化及び経営基盤の安定化を図るとともに、国内外の多様なニーズに対応可能な宿泊施設等の整備の促進に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
民間事業者の実施する沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光コンテンツ開発を支援することにより、観光消費額の向上や滞在日数の延伸等、沖縄の抱える観光課題解決を図る。	県	付加価値の高い観光コンテンツ開発への支援		
		支援件数（累計）		
		3件	3件（6件）	3件（9件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄観光コンテンツ開発支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	補助	83,520	83,668

予算事業名	沖縄観光コンテンツ開発支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	89,723

令和6年度活動内容

沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う事業者11件を支援した。

令和7年度活動計画

沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う事業者10件を支援する。

活動指標名	支援件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う民間企業等の自主的な取り組みを支援した。
	8件	7件（15件）	11件（26件）	３件（９件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

民間事業者や地域観光協会等が実施する付加価値の高い観光コンテンツ開発を11件支援し、目標を達成した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○事業実施主体の所在町村、地域観光協会等と連携し、持続可能なコンテンツ開発を行う。 ○　商談会等に積極的に参加し、販路開拓を続ける。	○事業実施主体の地域観光協会や地元住民等と連携し、持続可能なコンテンツ開発を行った。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	多彩で質の高いコンテンツを開発を自走化させるためには、事業実施主体と地域住民、周辺事業者との連携が必要である。
⑦ その他(改善余地の検証等)	多彩な質の高い観光コンテンツの開発支援を受けた事業者が自走できるように、継続して販売できる販路を確保する必要がある。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	事業実施主体と地域住民、周辺事業者との連携し、自走化と持続性を確保できる多彩な質の高い観光コンテンツを支援していく。
⑤ 情報発信等の強化・改善	ツーリズムEXPOジャパンのような観光関係の大型商談会等に積極的に参加し、販路開拓を続ける。